

令和6年度 山梨県立身延学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針

山梨県立身延学校校長 丸山 淳

本年度の重点目標	1 自主的創造的な学習態度の育成	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)	評価	4 良くできている。
	2 剛健の気風と豊かな人間性の育成		B 概ね達成できた。(6割以上)		3 できている。
	3 規律節制を守る自律的生活態度の育成		C 不十分である。(4割以上)		2 あまりできていない。
	4 魅力づくりに努め、地域とともにあり、信頼される学校づくりの推進		D 達成できなかつた。(4割以下)		1 できていない。

自己評価			
番号	評価項目	本年度の重点目標	
		具体的方策	方策の評価指標
1	自主的創造的な学習態度の育成	① 主体的・対話的で深い学びを実現するため、ICTを活用した活動や考え方を表現する活動を充実させる。さらに、情報編集力の習得に向けた取り組みを行う。	各教科の目標に対する達成度及び授業アンケート
		② 適切な宿題・課題、ICTの活用により個別最適な学習を充実させる。また、授業外学習時間の確保と習慣化を目指す。	適切な学習課題を与える、継続的に取り組ませる。各教科の達成度と授業アンケート
		③ ポートフォリオ導入など適切な進路情報の提供と、進路目標に応じたきめ細かな指導を行い、進路希望実現率を向上させる。	的確な進路志望の把握と進路目標に応じた学習環境を提供した上での進路実現の達成度
		④ 生徒の学習改善と教員の授業改善にむけた観点別評価の改善に取り組む。	3観点での評価方法および評定決定方法について作成
2	剛健の気風と豊かな人間性の育成	① 本校の実情にあつた部活動や委員会のあり方の検討や活動状況の把握に努め、さらなる活性化を図る。また、地域人材を活用した業務改善を図る。	教員数減に伴う部の見直し状況と部活動・委員会活動満足度の調査
		② 業務の効率化を図り、放課後等に生徒相談を行う。	設定したきずなの日を活用
3	規律節制を守る自律的生活態度の育成	① 基本的な生活習慣の確立に向けた指導を充実させる。	遅刻や健康観察入力の状況等
		② 頭髪・服装指導やスマートフォン等の正しい活用方法の指導を充実させる。	年次やスクールライフ部の記録
4	魅力づくりに努め、地域とともにあり、信頼される学校づくりの推進	① 学校運営協議会において、学校の教育方針を伝えると同時に、地域の方から多様な意見を伺い、信頼される学校づくりに取り組む。	学校運営協議会の開催回数や、伺った意見のうち取り入れて改善した項目数
		② 魅力的なHPや情報誌の作成を進め、地域・保護者や中学生に学校の様子を発信・公開する。	HP更新・情報誌発行状況

学校関係者評価	
実施日 (令和7年3月18日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関しては、総合学科としての利点等を効果的に活かして努力している様子が十分見て取れる。 ・学生の進路が多様な中、個々の学力に対応した指導方針がとられているように思える。 ・授業アンケート結果から家庭学習時間の確保(予習・復習を含め)が大事と思いました。早い段階で卒業後の進路を意識させ、その目標実現のために何をなすべきか理解することが日々の学習意欲にもつながると思います。 ・図書館利用や家庭学習指導に係わる評価が低かったと思います。クラッシャーを利用することは伺いましたが、家庭学習での活用も進めてほしいと思います。 ・総合学科発表会での発表者の意識が生徒全員につながっていくといいと思いました。 ・先日の総合学科発表会での生徒たちの夢に向かっての取組みは、とてもすばらしいものでした。このような学校行事に多くの中学生や保護者に来ていただき身延高校の魅力を感じていただきたいと思いました。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動への入部率(部員数の偏り)が気にかかる。 ・部活動が少ない中、成果も出しているものもあるので評価できる。 ・少人数で生徒と教師の距離が近いと思います。この環境を活かして、生徒一人一人ときめ細やかな学習指導、進路指導やカウンセリングなどの教育相談に引き続き取り組んでいただければと思います。生徒と教師の距離が近く質問や相談がしやすいことが身延高校で学ぶ利点の一つだと思います。 ・部活動が少ない分、ボランティア活動や体験活動が増え、地域と協働した活動や成果が残せることを期待します。 ・生徒数も少ないので個を生かせるような部活動やサークルなどを充実させたらどうでしょうか。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・中高連携の中で防災に関する取り組みは評価に値すると思う。 ・地域や家庭における連携も取れているように思える。 ・自然災害などの発生で帰宅困難者が出了した場合の対応は、食料・寝具等の備蓄品や備蓄量はどうなかがりになりました。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力づくりについては、良く努力されていると思う。地域連携もさらに推し進めていってほしい。 ・外国語や福祉関係の授業などで身延山大学との連携を図ってはどうか。 ・中学校・大学・地域との連携は大切であると思います。特に地域と連携した活動をもっとしていく必要があると思います。 ・身延町商工会「どんぶり街道」のメニュー開発など素晴らしい活動だと思います。 ・同町内の身延山高校との交流なども行うといいと思います。

留意点 (1) 重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2) 学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。